



## 循環型社会の構築

### 出野副知事が韓国で本県の海洋環境保全の取組を発表



令和4年8月4日、本県と友好協定を締結している韓国忠清南道からの招聘により、道が主催する国際フォーラム「環黄海フォーラム」の特別セッションに出野副知事が登壇しました。



世界協力の呼びかけ



プレゼンテーションの様子

海洋産業の振興と海洋環境の保全に取り組む「マリンオープンイノベーション (MaOI) プロジェクト」及び県民一人ひとりに海洋プラスチックごみの発生を防ぐ行動を呼びかける「海洋プラスチックごみ防止6R県民運動」の取組を紹介するとともに、「美しく、豊かな海を次世代に引き継ぐため、世界中の自治体、住民が連携して取り組むこと」を呼びかけ、出席者から賛同を得ました。

### いつでもだれでもチャレンジできる食品ロス削減を啓発



県では、廃棄物の削減や限りある資源を有効活用する観点から、家庭や外食店での食品ロス削減の啓発に取り組んでいます。



小中学生を対象とした出前講座



食品ロス削減キャンペーン

令和4年度は、6つの小・中学校で食品

ロスの現状や課題を伝える出前講座を実施し、家庭の食事や給食での食べきりを呼び掛けました。

また、SNSで食品ロス削減の取組を投稿・情報発信する「ふじのくに教えて食品ロス削減投稿キャンペーン」を実施し、普段の生活の中で食品ロスにつながるアイデアを、多くの方から投稿いただきました。

食品ロスは、県民の皆さんが日常的に接する「食」に関わる問題であり、日々の生活において削減につながる行動をしてもらえると、今後も啓発を続けていきます。

### 「森・里・川・海のつながり学習会」の開催と環境学習ポータルサイト「ふじのくに環境ラボ」の開設で環境学習を推進！



「森は海の恋人」水の循環研究会は、森里から川を通じ、海に流れる栄養が、海の生物生産に寄与していることを明らかにしました。これを踏まえ、県では、親子を対象に、環境保全の大切さを考えるきっかけを提供する「森・里・川・海のつながり学習会」を開催しています。令和4年度は、狩野川流域の「森」「里」「川」「海」の4会場で、実験や観察を通じて、各フィールドの役割を学びました。



「ふじのくに環境ラボ」サイト画面



学習会「知の上・環境生物の観察」

また、令和5年3月に、環境学習ポータルサイト「ふじのくに環境ラボ」を開設しました。このサイトでは、5つの分野（地球温暖化、自然共生、資源循環、水循環、大気・水質）別に、動画やクイズ等で、子ども達が楽しく環境について学ぶことができます。



「ふじのくに環境ラボ」↑



### 静岡県水道広域化推進プランの策定 ～水道水の安定供給に向けて～



静岡県では、市町等の実施する水道事業が将来も安定した経営を確保していくため、県内を5つの圏域に分け、市町の区域を超えた広域化の推進方針を定めた「静岡県水道広域化推進プラン」を、令和5年3月に策定しました。

現在、プランに定めた推進方針に基づき、圏域ごとに、「危機管理対策」「営業業務やシステム等の共同発注」「資材や薬品等の共同調達」などの項目について、市町等の水道事業体と広域化実現に向けた検討を行っているところです。

将来にわたり安心・安全な水道水を供給できるよう、今後も、水道事業の広域化を推進していきます。



圏域図



静岡県水道広域連携全体会議

### 田子の浦港の汚染底質の除去完了



田子の浦港において、港内に環境基準を超過する汚染底質が堆積していることが確認されたことから、県では、平成15年度から汚染底質の浄化対策を実施してきました。

汚染底質の除去に当たっては、安全かつ的確に実施することが求められることから、学識経験者からなる「田子の浦港底質（ダイオキシン類）浄化対策検討委員会」を設けて策定した「田子の浦港底質（ダイオキシン類）浄化対策事業計画」に基づき、浄化対策を進めてきましたが、令和5年3月17日に開催された委員会において、田子の浦港内の汚染底質の除去がすべて完了したことが確認されました。

今後も引き続き、ダイオキシン類管理とモニタリングを適正に実施していきます。



汚染底質の除去（浚渫）作業



委員会開催状況